



QRコードから加茂高のホームページを閲覧できます。

KAMO

修学旅行 長崎・福岡

2年生(10月24日~27日)



加茂高春秋

『感謝』

PTA役員として、多くの行事に参加させていただきました。その中でも加茂高祭の盛り上がりは素晴らしいです。

一年生の展示、二年生のパフォーマンス、三年生のステージ。どれもクオリティが高く、ここまで仕上げるには仲間との協力が不可欠だったと思います。たくさん話し合っ、時間をかけて創り上げていったのでしよう。

コロナが5類感染症に移行し、全学年が体育館に集合できたのも久しぶりでした。まさに、伝統ある加茂高祭の新たな一ページとなったのだと感じました。

子供たちの楽しそうな姿を拝見し、日々、仲間たちに支えられ、充実した学校生活を送れていること、加茂高の仲間や先生方への感謝の気持ちでいっぱいです。

当たり前の毎日が送れることへの「感謝」。仲間と過ごせる日々の「感謝」。皆さんには、身近にある小さな幸せに感謝しながら、明るい未来へ歩み続けていってほしいものです。自分らしく、高校生活を思い切り楽しんでください。

(副会長 菜原 真己)

PTA講演会

演題

「あなたはあなたの経営者 10代に伝えたいこと」

講師 秋元 祥治氏

研修部長 長尾 陽一郎

11月7日、4年ぶりに全生徒が体育館に集まり、講演会を開催することができました。

講師の秋元祥治氏は、岐阜市出身で人材をテーマに地域の活性化を目指し、中小企業と若者をつなぐ長期実践型インターンシップ事業を岐阜で立ち上げ、岡崎市では中小企業による相談のセンター長に就任する等、各方面で活躍をされています。

今回の講演は、本校が実施している「探究活動」や「地域課題研究」等の活動において生徒たちが主体的に取り組み、将来について考える機会とすることをねらいとして、ご自身の経験を踏まえ講演いただきました。

講演会では、次の二つのことが特に印象的でした。

一つ目は、企業の経営相談で業績をV字回復した事例でした。「見方を変え、ターゲットを絞り、具体的な方法を考え、より早くニーズに答える」ことで弱みも見方を変えれば強みになる、といったマーケティングの考え方は、自分自身の苦手なところや嫌いなところも見方を変えれば強みになる、ということでした。

二つ目は、「挑戦するチャンスは誰でもある。まず1回やってみることで、新たな経験や実績として残っていく」ということです。高校生や大学生のうち様々な経験をすることは、成功失敗に関わらず、将来必ず大きな財産になるということでした。

今回の講演により、まずは興味のあることに挑戦し、多くの人がつながりを持ち、多くの経験をすることで、「あなたはあなたの経営者」になれるということがわかりました。みなさん、これからの高校生活で是非、実践してみてください。



生徒感想

◆ 挑戦することは誰でもできて、見方を変えればネガティブもポジティブになるというお話を、特に心に留めておきます。具体的には、そのために言い続けることの重要性、背水の陣をしいても行動することの重要性を学ぶことができました。しかし、その裏側には、忍耐力をもち、努力し続けた上で、現在の状況にもついていく秋元さんの努力があり、その部分も前提として、自分自身も頑張らないといけないと思いました。

◆ 今まで受けてきた講演会の中で最も面白く、ためになったお話でした。秋元先生の発想力、人生談は感嘆しかありません。物事のネガティブなところはばかり目につく私でも、ポジティブな面を見つけれられるようになりたいと思いました。また、思いついたことを実行に移すこと、「なんでも挑戦しよう」のよく聞かされるありがちな言葉の重要性が改めて分かりました。

◆ 今の時代は、一つの仕事だけでなく、あれもこれもこれでもできる時代だということが特に心に残りました。仕事や物事について見方を変えるだけで華やかになるのを初めて知ったので、私もやってみたくも思いました。そうしたら、あれもこれもこれでもできる気がしてきて、理由をつけてやらないより、できないけどやってみたという生活が送れたらいいと思いました。

◆ 同じもの、事柄も観点を変えてみると、新しい価値、活路を見いだせることを強く実感した一時間でした。コロナ禍での衝撃をチャンスに変えた例は知っていました。ここまで身近なところにもチャンスはあることもよく分かりました。いろいろなることに興味をもつていいという言葉とても響きました。会いたい、話を聞きたいならまず動くこと、これから実践すべきものだと思います。受験真っ最中に入る今からやりたいことをやってみる気持ちを大切にしようと思います。



PTAボランティア活動

「PTAによる飲料の配布」

★文化祭が行われた9月7日に飲料を各クラスに配布しました。

「アクエリ取りに来ました！」元気に笑顔で受け取ってくれました。文化祭を心から楽しんでいるのが伝わってきて、我々役員も嬉しくなりました。「冷たくておいしかった」と子どもたちが喜んでくれて、役員としてお役に立てて光栄でした。

(PTA会計 佐藤 明子)





体育祭

6月28日(水)

体育祭 成績結果

1位	2位	3位	4位
北部	南部	東部	西部



体育祭みてある記

(二年広報委員)

コロナ以降、子供たちの頑張っている姿を見ることが遠ざかっていました。取材を通して一生懸命、競技に取り組む、仲間と喜び合い励ましあう姿に胸が熱くなりました。子供たちの輝く笑顔が忘れられません。(S・Y)

暑い中、全力で競技に挑む子供たちの姿がとても素晴らしいかったです。男子も女子も転んで土まみれになりましたが最後までやり切り、感動しました。(S・F)

子供たちがマスクなしで活動している姿を久しぶりに見ました。騎馬戦・百足リレー・綱引きなど真剣な表情と笑顔が印象的でした。また、団対抗リレーは声援にも熱が入り見応えのあるものでした。(A・W)

球技大会

10月12日(木)

球技大会 成績結果

		優勝
バレー	男子	3-2
	女子	3-3
バスケ	男子	3-4
	女子	3-4
サッカー	男子	2-2
ドッジ	女子	1-1



球技大会みてある記

(二年広報委員)

活気に満ちた子供たちの姿がとても素敵な球技大会でした。白熱した試合は見応えがあり、それを応援する子供たちの元気な声が一層、楽しい雰囲気を感じ上げていました。取材を通して、楽しい時間を過ごすことができました。(M・N)

競技中のクラスメイトを応援する姿がとても良かったです。高校生ならではの迫力あるプレーもあり、つい写真を撮るのを忘れそうになりました。加茂高生の皆さんの笑顔を沢山みることができて、元気をもらえました。(R・O)





自然科学部



文芸・新聞部



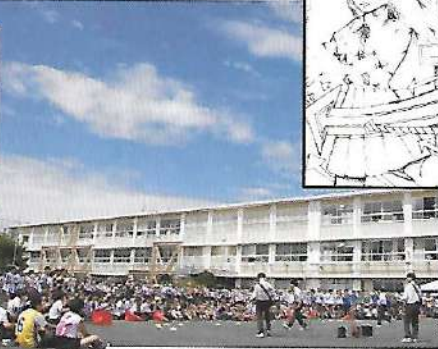
加茂高祭

The 17th 2023/9/7-8

「つなぐ〜青焰〜RE」



茶道部



美術部



コーラス部



吹奏楽部

のぼり部門

- 最優秀賞 (3-3)
- 優秀賞 (3-2)



演劇部



書道部



1-1



1-2



1年生

1-3 優秀賞(展示部門) 作3組



1-4



1-5



1-6



1-7



2年生



3年生



文化祭みてある記
(二年広報委員)

どのクラスからも子供たちの持つ豊かな創造力を感じました。一生懸命何かに取り組むと、人の心を動かすことができるのだと実感しました。笑顔で楽しそうに息を合わせ、汗だくなっている子供たちの姿を見て、「青春だな」と思いました。たくさん笑顔を見ることができて、幸せな気持ちになった文化祭でした。(M.O.)

一年生の展示、二年生のパフォーマンス、三年生のステージ。どの学年もとても盛り上がっていました。準備や練習など大変なこともあったと思いますが、生徒さんの頑張りが素晴らしい文化祭になったと感じました。(R.A.)

母校でもある加茂高校の文化祭30年ぶりに参加させていただきました。練習を重ねてきた自信と少し見える照れ、何よりも楽しみたいという思いが子供たちから伝わってきました。(M.G.)

二日間お天気に恵まれ、夏休みからクラスの仲間たちと準備してきた出し物を精一杯、披露している姿はとて輝いていました。仲間の頑張りを称える声援や拍手が校内に鳴り響く素晴らしい文化祭でした。(M.Y.)

新型コロナウイルス感染症の五類移行。保護者の一般公開の突然の中止。日々、変わる状況下。まだまだ規制もある中で、その時できることに全力で取り組む姿。子供たちにも適応力が備わってきたのではないのでしょうか。

広報委員の取材を通して生徒さんたちの楽しむ姿をお伝えできてよかったです。(Y.M.)

やっとコロナ前に戻ってきたのかな？発表をしている人だけではなく、観客側も大きな声援と拍手と笑顔でみんなが楽しんでいて、とても嬉しく思いました。来年は、保護者も見に行けますように。(M.K.)

部活動等報告



ボート部

★全日本高等学校総合体育大会 (インターハイ)
全国第3位 女子ダブルスカル (猪野・纈瀬)

★国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」
全国準優勝 少年女子舵手付きクォドルプル
(岐阜選抜=大津・兼松・纈瀬・猪野・牛田)

★世界ジュニアローイング選手権大会 (フランス・パリ)
世界19位 女子ダブルスカル (兼松)
世界22位 男子ダブルスカル (成瀬)

★全国高等学校選抜大会出場決定
男子舵手付きクォドルプル (永井、近藤、小栗、池戸惇、岡本)
女子舵手付きクォドルプル (渡邊、纈瀬、猪野、梶、小林)
女子ダブルスカル (板津、井本)

ソフトボール部

★全国高等学校選抜大会出場決定

Table listing various sports events, dates, and results for the Boat and Softball departments.

Table listing various sports events, dates, and results for the Basketball and Volleyball departments.

Table listing various sports events, dates, and results for the Badminton and Table Tennis departments.

Section titled 'あーたー' (A-ater) containing text about school activities, a photo of a student holding a certificate, and information about the 'All-Japan High School Sports Meeting'.

理数科の活動

校外学習や出前講座を通して自然科学の最先端の研究に触れながら、課題研究により主体的に探究していく能力を伸ばしています。

【課題研究構想発表会】

7月4日(火) 理数科2年生
物理、化学、生物、地学、数学について10の研究班から、テーマ、目的、研究方法がそれぞれの説明がされました。出された質問や意見をもとに内容を再検討し、1年半、時間をかけて行っていく研究を本格的に開始しました。今年度の研究成果の中間発表会を2月に予定しています。



【校外学習】「核融合科学研究所」

7月12日(水) 理数科2年生
7月13日(木) 理数科1年生
土佐市にある研究施設で、最先端の科学に触れてきました。午前中は、核融合の講義を受けたのち、施設内を見学しました。巨大な施設や装置を見ながら、研究をしている人たちの日常についても知る事ができました。午後は、核融合に関連する実験や実習を行い、より理解を深めました。研究現場で専門の方から直接説明を聞くことで、刺激を受け、自然科学に対する理解とともに興味・関心がとても高まりました。

○生徒の感想

紙面で研究のことを読むだけでなく、実際に研究の場に赴くことで感じるこのできる空気や、見ることのできる装置がありました。また、実習を通して自分の知らない領域の研究の一端を見る事ができ、新たに知りたがり、見たりしたものが多く好奇心をくすぐられました。

研究の成果を出すためには、何年も研究を積み重ね



ていく必要があるということがわかりました。課題研究でも何回も実験や記録会をして、自分たちが納得のいくような結果を導いていきたいと思いました。
スーパーコンピューター「フラスマシミュレーター」を見ることで、研究を行う中で膨大なデータの処理をしていることや、それだけ核融合の研究の規模が大きいことも実感できました。他にも核融合のような日本で行われている研究施設の見学をしたいと思いました。



2年生



1年生

ふるさと教育週間

11月6日(月)、岐阜県ふるさと教育週間に併い、公開授業や出前講座を行いました。

◆5・6限

公開授業 (全学年)

◆7限

- 1年生普通科・LHR公開
- 2年生普通科・授業公開
- 3年生全クラス

美濃加茂市まちづくり出前講座
「Lost Voice」あなたの声を届けよう



3年生



2年生



1年生

◆理数科出前講座 6・7限

1・2年生理数科
【送粉生態学入門】

○内容

ふるさと教育週間に合わせて、理数科では大学等の研究者を招いて科学に関する出前講義を実施しています。今年度は植物の生殖戦略に関する話題を岐阜大学の三宅先生に講義していただきました。花は、植物にとりて顔ではないという導入から、生殖器官であり、植物が花粉をめぐらして送粉するための戦略について、風媒花動物媒花のそれぞれのメリット、デメリットについて話が進みました。花と昆虫など花粉を運ぶことによる特定の相手との間で共進化が起こっていることを紹介されました。また、植物のみならぬ自家受粉を避けるもの、あえて行うものなど種子を作るための様々な戦略を知ることができました。

○生徒の感想

動物媒に関して、植物側の「広告」「報酬」「くつきやすさ」「活動期」の4つの要素によって成立していることを詳しく知ることができました。昆虫は紫外線によって花の色が見え方が違うことや、雄花が雄花に擬態して昆虫をだましているものがあることに驚きました。
植物と動物の関係なのが気になりました。



出前講座

理数科コンクール

東京理科大学 坊ちゃん科学賞研究論文コンテスト(9/30)

- 「シテコブシの自生地調査と保全」 入選 大平幸徳・伊藤祐斗・兼松万緒・水木友菜
- 「化学薬品を使わずに緑虫を駆除する方法」 佳作 水江楓華・有国遥菜・藤田美咲・田中詠美
- 「白川町にて発生したハックウオーター現象」 奨励賞 三澤隆雄・田中壮・椿拓実

第2回広報委員会・第161号加茂高だより編集会議

10月25日(水)に第二回広報委員会と加茂高だより161号の発行に向けて編集会議が開催されました。行事の写真選別は和気満々とした雰囲気で行なうことができました。



編集後記

加茂高だより161号をお届けします！
コロナやインフルエンザの感染拡大に不安を抱く中で、体育祭・文化祭・球技大会という大きな行事をすべて開催することができて大変嬉しく思います。どの行事も「ひとり」では、できないものです。だからこそ、難しいし楽しいものだと思います。
精一杯、取り組むことで何かを感じ、成長することができたのではないのでしょうか。これからも能動的に挑戦する充実した高校生活にしてほしいと心から願っています。
今回は、皆さんの笑顔が盛りだくさんの加茂高だよりになりました。ご協力いただいた全ての方に感謝申し上げます。
(二年学年委員長 大山 真樹)

◎こちららは定時制のページです。

校内フリースタイル大会

今年度は「フリースタイル」の紹介をテーマに、校内フリースタイル大会を実施しました。クラス予選(9月19日)を勝ち抜いたチームが、決勝大会(9月26日)に進出し、美濃加茂市職員の方々と、可児市国際交流協会の方々の方々と発表しました。決勝大会では、激戦の末、4年生の「4L」が優勝しました。どのチームも助け合って準備し、堂々とした発表をすることができました。



優勝4Lチーム

照明祭

11月1日(水)、2日(木)に本校の伝統である照明祭を行いました。第一日目の文化の部は、各クラスの企画発表や、有志によるステージ発表などを行い、照明祭の名にふさわしく、明るく活気あふれるひとときとなりました。第二日目の体育の部では、バレーボール大会を行い、どのチームも体育の授業で練習した成果を発揮し、楽しく競い合うことができました。みんなで協力し、大成功となった二日間でした。



照明祭文化の部



修学旅行

修学旅行(沖繩) (2年生)
11月15日(水)~11月17日(金)
一日目は、ひめゆり平和記念資料館、沖縄平和記念資料館、クワンシユウワ像の見学をしました。戦争の悲惨さを肌で感じ、平和について生徒一人ひとりが改めて考えることのできる時間となりました。
二日目は、タクシー研修を行いました。夏休み前から、各グループで何度も計画を練り直して行いました。生徒は、自分たちの行きたかった観光名所に行くことができ、充実した時間を過ごせたようでした。夜は、国際通りの散策をし、街の雰囲気や沖縄の長事を楽しみました。
三日目は、首里城の見学と、国際通りの散策を行いました。首里城の見学では、沖縄の歴史を学びながら、首里城が復元されている様子を間近に見ることができ、貴重な経験となりました。また、モノレールと徒歩で往復したことで、バスに乗っているとは思えない風景を見て、沖縄を身近に感じることができました。国際通りの散策では、夜とはまた違った街の雰囲気を楽しみながら、食事を楽しんだり、お土産を買ったりしました。普段の生活では経験できない様々なことを経験し、大変充実した二日間でした。



部活動

▼サッカー部
第33回全国高等学校定時制通信制サッカー大会
1回戦●1-7刈谷東(愛知)
▼バドミントン部
第25回全国高等学校定時制通信制バドミントン大会
女子団体
1回戦●1-2長崎
女子シングルス 準優勝
女子ダブルス 第3位(アピロン・迫田)



▼バスケットボール部
令和5年度東海高等学校定時制通信制バスケットボール大会
1回戦○71-24古川学園(三重)
決勝戦○75-54豊橋工科(愛知)
第51回岐阜県高等学校バスケットボール選手権大会
2回戦●46-74武義
岐阜県高等学校定時制通信制秋季体育大会
2回戦○88-27韮陽F(定時制)
決勝戦○208-0(不戦勝)城南
優勝



令和5年度 進路状況

就職内定

- KRH 株式会社
 - 社会福祉法人 聖霊会
 - 老人保健施設 サンタマリア
 - 岐阜車体工業 株式会社
 - 東海化成工業 株式会社
 - 加茂鋼材 株式会社
 - 株式会社 スマート スマーツ
 - 株式会社 デイ・イー・アイ
- (11月末日現在)



定時制課程のホームページはこちらからご覧いただけます。